ピカデリー
しちじ
7時

〈オレンジとレモン〉 イギリス民謡より

キャー
セント・クレメントの鐘がなるよ
キャー
5ファーシングス貸しとくれと♪
セント・マーチンの鐘がなるよ
お客さんそろそろピカデリーサーカスですがね
リージェント通りへやってくれ
おい こりゃなんのさわぎだ!?
殺人事件だとさ!
殺人事件!?

この先のアパートでチンピラが殺されてて
主人のポリスター卿がゆくえ不明だとさ！
♬それ いつ返してくれんのさ
と オールド・ベイリーの鐘がなるよ
エドガー！
お客さん こりゃいけねえよ
ここでいい ありがとう
聞いた？
だってね
さあ さがって！ さがって！ さあ行った 行った！
ワァ ワァ ワァ
馬車を止めるんじゃない
ガヤ ガヤ
行って！ 行って！
あのチンピラ知ってるぜ！
クックてえピカデリーの飲んだくれだ！
ナイフでひと突きだとよ
ワァ
娘さんはどうしてる？ そら美人の
♬お金持ちになったらと
ショアダッチの鐘がなるよ

カ
カー……ン
どうする　エドガー
どうする？
ぼくら
ポリスター卿を
たずねて
きたんだろ？
…まるで
おとむらいの
鐘だな……
いつお金持ちに
なれんのさ
ステペニィの
鐘がなるよ
なに考え
てんのさ！
ねえ
エドガー
どうする？
♪——さあ
しんねいよ　と
ボウのおっきな
鐘がなるよ……
ホテル
オリエント
やあ
ラッド！
ポール！
聞いたか？
リージェント通りの
殺人事件！
リリアが
心配だ
昨日
ピカデリーで
彼女と会ったん
だろ？
いや
昨日
彼女は
来なかった

クックは
台所の下の非常階段からコソドロにはいったとこをポリスター卿にみつかりやられたんでしょうな
さあおちついてお嬢さん
お…お…おじさま…に
ホウ
地理と歴史学者でありますか彼は
正当防衛ですがなクックもでかいナイフを持ってましたから
おえらいかたで学問のためよく旅行なさってましたよ
昨日もトランクを用意してね
でも急に電報がきたので旅行はとりやめて……
これですな「アスクポーツネル」
ポーツネルとは？
さ…あ
明けがた三時ごろピカデリー近くで
大きなトランクを持った人影を警官が見てますが…
昨日
おじさまが出かけるというのであたしこっそり恋人のポールに会おうと
昨日
でも電報がきて旅行は延期恋人には会えずそして今朝になったら
——人が死んでて——
おじさま黒いトランクを持ってどこへ

警察の総力をあげて彼をきっとみつけますよ
おじさまおじさま
お父さまのようなおじさま
孤児のあたしをひきとって育ててくれたおじさま
おじさまにポールとの交際を禁じられた
どこへいったいどこへ……
ポールがポールがそばにいてくれたら……!
手紙をおかきなさいわたしがまたとどけますから
トントン
ポール……!?
初めましてポーツネルですが――

ポーツネル?
この子たちが?
おじさまの…身内?
すてきな娘を育てていると
たいそうじまんしておられた
……あたしなにも聞いてなくて…せっかくいらしたのに
たいへんでしたね このたびは
……あなたのことは彼から聞いたことがあります
もうずいぶんたつ最後に会ってから
再会をたのしみにロンドンに来たんですが
ねえ彼のことを話してください
おじさまは……最初に会った時から少しもかわらないわ
今もくちひげをはやしてますか?
すぐかた目をつむりますか?
ええハンサムで……やさしくて……
いつもいつも……
おいでわたしのリリア

大好きな
お父さま
いつも
いつも
明るい金髪
明るい目の色
アブサント酒が
おこのみ
おいで
わたしの
リリア
いつも
あたしが作って
さしあげる
……いい人でしたね
わりとお人よしで
…ポーにしちゃ……
よしてくださいよ！
まるで死んだ人のこと話してるみたいじゃございませんか！
フリーダ
ポリスター卿の部屋を見せてくれませんか？
な…なぜ？
なにか手がかりが残ってるかもしれない
手がかりがあれば
警察にたのんでさがしてもらえるでしょう
キ

ラトランド地方を中心に切りとられているわ…！
ここに行ったのかしら？
…トランクをもって…夜中に…？
——行く予定だったんでしょうね

——あなたのために——
あたしのため…に？
アラン！
じゃポリスター卿はあなたになあんにも話してないわけ？
また来ます急用があるので
待って
待って！どうして……
おじさまのことを……
あたしの知らないおじさまのことを
なあんにも話してないわけ？
あの子たちなにか知ってる!?
ポーツネル!? 電報の主！なぜすぐわたしを呼ばなかったどんな男だった!?
少年？十四ぐらいの？……二人？
また来るって……言ってましたわ
ふんむ〜〜〜ラトランドか……

PUB
disci
PUB
エドガー
何軒パブを
まわるのさ
……
…人を
さがしてんだよ
ポリスター卿のこと？
もうロンドンには
いないよ――きっと
ラトランドへ
行っちゃったに
ちがいないよ！
彼は
…かつて
一度も
約束をやぶった
ことはなかった
彼は
ポーの村を
さがしていた
時の谷間
はるかな
バラの
ふるさと
貨物の事故が
ぼくらの到着を
おそくした
彼は
待っていた
はずなんだ
彼は――
その
入り口が……
みつかったと
手紙がきた
出発の日
までに
来れば
ぼくらも
つれていって
くれると
電報を見て
トランクを
おき
出発を
遅らせて
くれたのだ
……？

へい！今朝のニュースを聞いたかい？
あのクックのヤローまったくね！ろくな死にかたしなかった！
どうやらここだ
エドガー？
…あんたマスター？
なんか用かねぼっちゃん
ヤツはなあオレの店にごっそりツケを残していきやがったんだぜ！
ツケを払いにきたよ代理で
クックのね……
……あののんべの…？ヤツにそんな友人がいたか？
いいからいくらでも払ってこいってさ
ラッドじゃないか!?そいつは
ん——だろ？そういや……昨日の夜すみのテーブルで閉店まで二人でのんでたなあたしか……
ふーん……よーし……じゃ五ポンドもらおうか

悪いねえ！ラッドは今夜はのみにくるのかい？
どのラッド？
オリエントホテルのラッドだろ！
え？
オリエント？なに考えてるのさ！エドガー！
おいで！今夜はオリエントホテルへとまるよ
エドガーってば！
来ればわかる
いらっしぇい！こりゃ警部さん！
一杯くれビール

おーーラッド！
よ

今十四ぐらいのガキが二人おまえの代理で来てよーー
オレのォ!?

クックのツケ払ってくれたぜ
オ オ オリャオリャそんなおぼえないぞ！

ガキが二人？おい
まき毛と金髪でいい服着た……？
へい？まさか警部さんで？ツケ払ってまわってるの
五ポンドでしたよ

クックのツケ…？なんでだ…？
なにか知っていそうでしたわ
ポリスター卿の身内…とかいうガキ……
なにを知ってるんだ？

おいまたそのガキが来たら知らせてくれ
へーー？事件に関係でも？

わからん
オリャ知らんぞ！

ホテル オリエント
はい ひと晩 おとまり お荷物は
ないよ 駅に あずけてある
ねえ この ホテルに なんの用が あるの? なんで ツケなんて 払ったの?
黒い トランクを さがしてるのさ
トランクは ポリスター卿が 持って旅行に……!
行って ない
なーにさ 見てきた ふうなこと 言って! じゃどこに いんのさ ポリスター卿は!
シッ
リリアんとこの メイドだ なにしに 来たんだろ
ハンサムな ボーイだね 若い娘が のぼせそうな
……たと えば リリアが

ポール！お客さまを案内して！
あ はい！
あ 失礼
ポール!?
どうも
こちらこそ
あっ！手紙すりとったの？悪趣味！
事態は急を要する
ごめんなさい ポール――
昨日 会う約束をやぶってしまって
急に おじさまの旅行がのびて
家から出ることができなかったの
明日 待ってます
あ あーっ
？
？

朝の七時ピカデリーでフリーダと市場に行く予定ですから
こんにちはポール
あ…あのその手紙……!
わきからこんな手を出してポリスター卿が知ったら
だまっちゃいないよ!
き…きみたちは
彼の身内だよ今さっきリリアに会ってきたとこ
ほんとかい?リリアはどうしてた?
なんか…こんな事件にまきこまれて……
あの子……
どうしてた?
リリアが好きなの?
好き…だよ
そりゃムリだよリリアにはポリスター卿がいるもの!

そりゃぼくはこんなしがないボーイだしさ……
♪オレンジとレモン
…だから彼女との交際を大反対されるのもわかるけど
そんな意味じゃなく！
アラン
セント・クレメントの鐘がなるよ
カ
5ファーシングス貸しとくれ　と
セント・マーチンの鐘がなるよ
……でもそのうちきっとわかってもらうから
いつ返してくれんのと
オールド・ベイリーの鐘がなるよ
ぼくは彼女を愛してるんだ
一年まえに会った
それから雪のトラファルガー新緑のケンジントンどこにいてもぼくたちは幸福
それからセント・ポールの礼拝堂バッキンガムの散歩道
いつもぼくたちは幸福
オレンジとレモンローストとマシュマロ幸福と不幸運命と偶然
天使と悪魔
鐘がなるよ鐘がなるよロンドンの

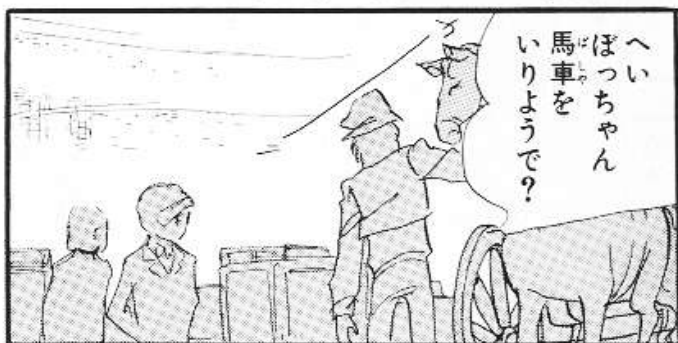
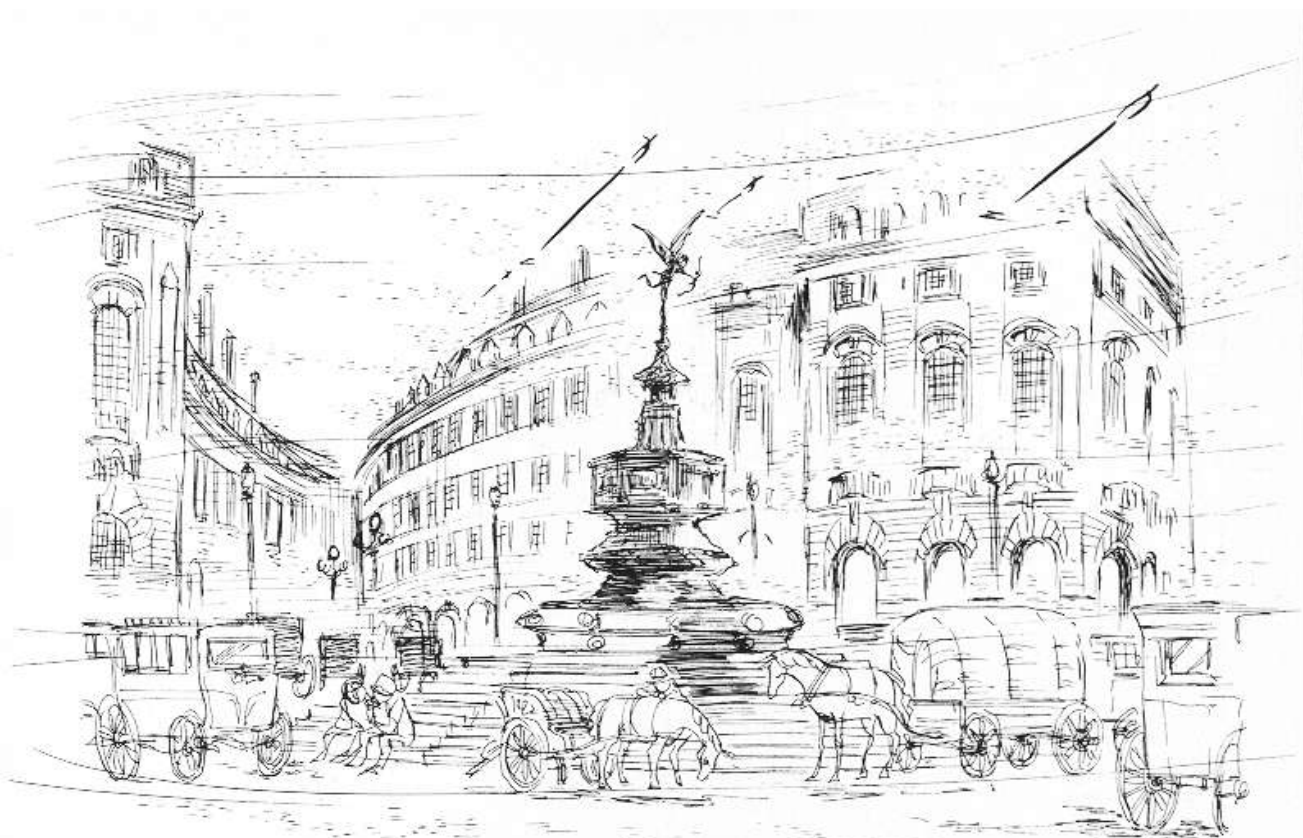
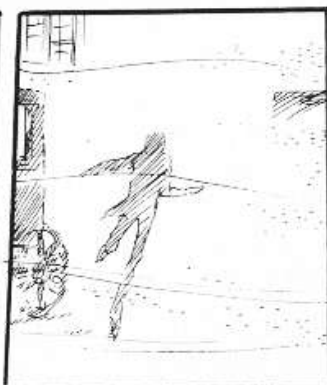
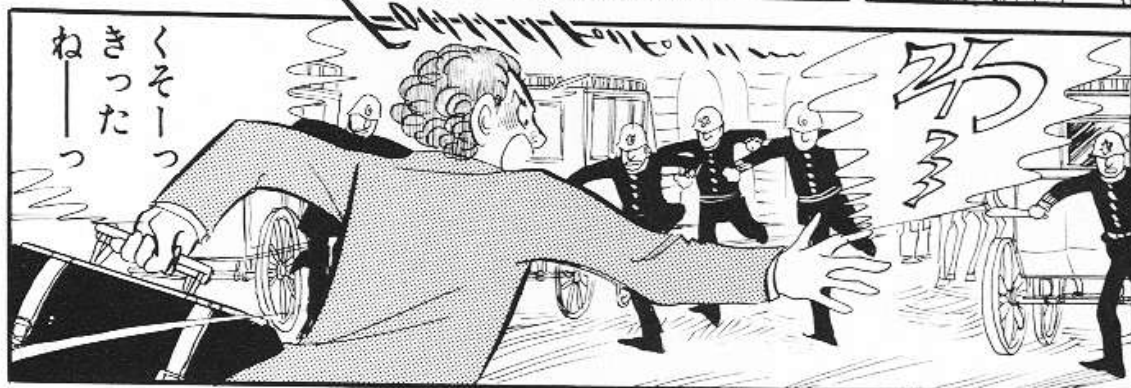
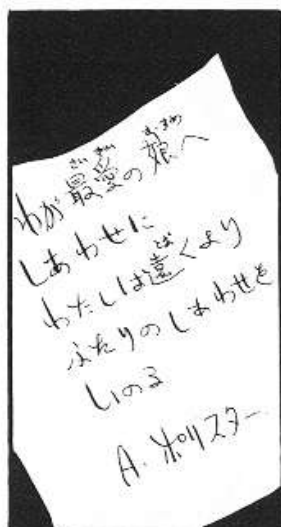
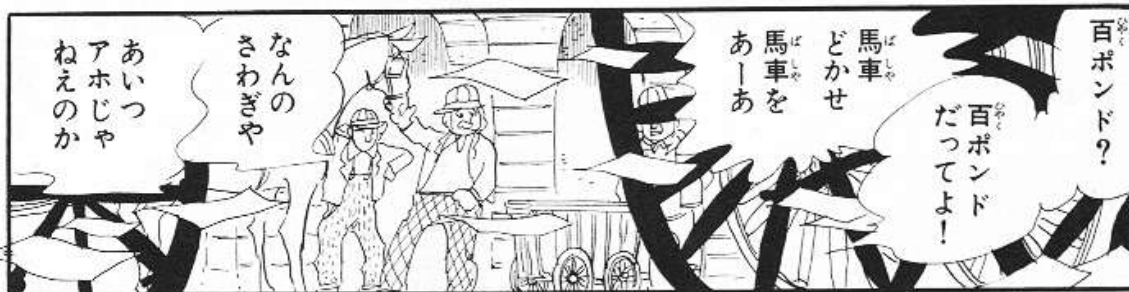
おとむらいの鐘に聞こえる……
え?
手紙をわたしてきました彼たいそう心配してましたよ
明日七時ね
フリーダありがとう
ポールおじさまが早くみつかるようにあなたも祈って……
あたしの育ての親かけがえのない人
明日会うの…?今夜行けばいいのに
だめなんだ行きたいけど二時まで夜勤で
昨日ラッドにかわってもらったばかりだから
……ラッドって同じボーイ仲間でね
ラッド!かわってもらった!
昨夜すみのテーブルでクックと二人のんでたなあ
あなたならリリアを幸福にできそうだね……
……
エドガー!

なーに！なんてこと言ったのさ！
ポールがリリアといっしょになれるもんか！
ポリスター卿はリリアに話してなかったらしいけど……
どこ行くの!?
先ほどのパブさ
ラッドに会いに
ラッド？なんの用が
ポリスター卿は旅行に出るはずだった
だからリリアはそのすきに恋人に会うはずだった
だから恋人のポールは
デイトなんだ
夜勤をラッドとかわってもらった
ラッドは聞いて主のいない家にクックとしのび入り
まんまとカネめのものを盗み出すはずだった
が……！
主はあいにくといたんだ
主はぼくらを待っていた
なのに黒いトランクがなくなった
…トランクは必要だ………地図がはいってるかもしれない

トランクを持ってったのが……そのポールの友人の
ラッドだというの？　じゃポリスター卿は？
彼は？
まだわからないの？
パブ ピクトリア
そろそろしめるぜ！ラッド！
あいよ…
あ……
知らせてくれ現れたら
あんたラッド？
ん？なんだおまえら…
これをあずかってきたよ
ん？

トランクを買いたい100ポンド払おうポリスター
がん
百!!
だっ…だれがこっ…これを
背の高いハンサムなおじさん
返事をもらってこいってさ
まっ待ってないい子だなだちんをやるから
朝7時ピカデリー
帰るぜ!またな!
ああ ああおやすみラッド
エドガー手紙…!
シー!
パサ!

警察に
知らせてる
みたいだよ
エドガー
いいから
おいで
あとは
タイミング
それにしても
七時とはね…
偶然にも
デートの
時間
百ポンド……
ポリスターのヤロー
よっぽど
うしろめたい
とこが
あるんだな……
クックと
しのび
こんだは
いいが
はからずも
人の音
手近の荷物を
ひっつかんで
クックをほうって
いちもくさん
あとで
主が家に
いたと聞いて
タラー
ポールめ
いねえと
言いや
がって
殺された
クックには
気のドクだが
オレにも
運が
むいてきた

クックはナイフを
持っていた
大きな
ナイフ
殺されたポリスター
心の臓に
つきささった
ナイフ
爆発をおこしたように
一瞬にして
消え去った
――からだ
花嫁を
育てていたのだ
彼は
明るい目
明るい髪
おじさまはアブサントがお好き
彼女が
二十歳になり
一族に
加えられる日を
待っていた
儀式のために
村をさがし
大老ポーをさがし
だが彼は
もういない
もういない

ホントですの？
おじさまが
……ここに
現れるって？
もちろん！
わしの
にらんでた
とおり
二人の少年は
卿のゆくえ不明と
関係が
あったのです！

へい
ぼっちゃん
馬車を
いりようで？

少しはなれて
立ってましょう
ポリスター卿が
現れたら
合図して
ください

あっ
む？

ポール
リリア
ひさしぶりだね？
やせたよ
ねむれないいんだろう？
ポール
ポール
ウオッ
ホーン!!
オホン！
だれだい
彼は
あ…あの人は
おじさまの

おじさまのトランク!!
ラッド?!
げっ
ヤバイ…ポリスターの娘!!
気づかれた逃がすな!
わ〜〜
くそーっきったねーーっ
へい!こっちラッド!
わわ
トランクを!
ひゃ百ひゃ!

あばよ！
ボカ
ジ
馬車をあの馬車を追えっ
わ
さわるなさわるな――っオレの百ポンドだーっ
百ポンド？
百ポンドだってよ！
馬車どかせ馬車をあーあ
なんのさわぎや
あいつアホじゃねえのか
おまえ乱視か！よく見ろただの白い紙だぞこりゃ
ゲッ
いいえ！……手紙が一通……
わが最愛の娘へ
しあわせに
しあわせは遠くより
わたしはふたりのしあわせを
いのる
A.ホリスター

遠くよりしあわせをいのる
…おじさま…
さあ立てラッド！
署でとっくりわけを聞かせてもらおうか！
ひゃくひゃっくひゃくひっく
おっおっおっ
なんのわけがあって…？
行ってしまったの……
いつもいつも……
…いつかもどってくるのでしょう…？
おいでわたしのリリア
あの子たちはそのわけを少しでも知っていたのかしら……
これはうそでしょう？
リリア……

「ピカデリー７時」昭和50年６月